

第3章 景観重点区域のガイドライン

海へのシンボル軸 景観形成のコンセプト

海へのシンボル軸は、松の緑が豊かな、湘南の趣きを感じる、平塚駅南口から海岸に至るなぎさプロムナードに沿った区域です。景観づくりの基本方針は、海を感じるシンボル軸の形成と松並木と調和するまちなみの形成を目指します。

① 周辺との関わりを考える

位置・配置

■ 建物

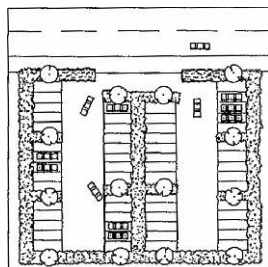
- 周辺の建物と壁面のラインをできるだけ揃え、沿道のリズムを乱さないようにしましょう。
- 南口駅前やなぎさプロムナード沿いの商店街では、セットバックし、人々を引き込み、対流させる空間を確保しましょう。
- まちかどの建物は、角地部分の壁面後退距離を大きくとり、まちかど広場の創出に努めましょう。



右写真:セットバックし、既存の松を保存して引き込み空間をつくり出しています。

■ 駐車場配置

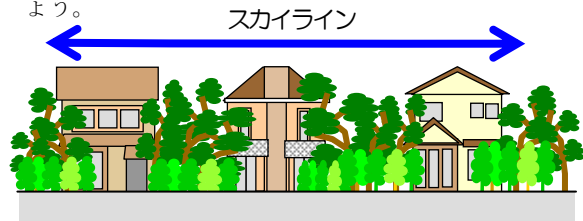
- まちなみやそのにぎわいを分断する駐車場の出入口は、通りに面して設置しないようにしましょう。やむを得ない場合は、出入口を一箇所に集約して出入口の面積を最小限にし、植栽を設けたりデザインを工夫するなどして、にぎわいの連続を確保しましょう。



高さ・規模

■ 建物

- 建物のスカイラインは、連続性のある高さとしましょう。



② 質を高める

外構・緑化

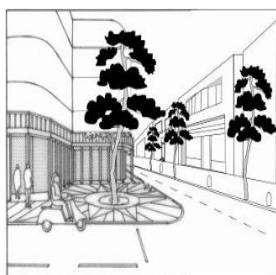
■ 塀・フェンス・生け垣

- 住宅の周囲は、ブロック塀や金網フェンスの使用を避け、生垣化に努めましょう。
- まちなみの雰囲気にあった瓦屋根付土塀等は積極的に保存・活用しましょう。

■ 緑化

- 通りに面する境界部に沿って、高木の並木となる植栽を行いましょう。
- 樹種は、海岸に至る緑豊かなイメージをめざし、海岸付近の松林に合わせてクロマツ等の常緑樹を用いるようにしましょう。

- まちかどに設けた空地には、木かげを創出したり、まちかどのめじるしとなるよう、シンボルツリーを設置しましょう。



③ まちなみを彩る

形態・意匠

■ 建物の形態意匠

- 建物は、海や松並木と調和するまちなみに配慮し、周辺に圧迫感を与えないデザインとするよう努めましょう。



- 海のシンボル軸内の建物のデザインは、一階部分の軒高や見切り線をそろえるなど、通りからの見え方に配慮しましょう。
- ランドマークとなるまちかどの建物は、まちかど広場と合わせて、地域の特性に配慮したデザインの建物としましょう。
- 旧別荘地の建物の敷地は、その雰囲気を残すよう、建物が豊かな樹木に囲まれた状態となるような敷地規模としましょう。

■ 色彩

- 建物の色彩は、周辺と調和しない原色や突出色を避け、彩度の低い落ち着いたものとしましょう。
- 湘南海岸の松林や周辺の街路樹・植栽（特に松）との調和に配慮した色彩にしましょう。

その他

■ 広告物

- 広告物は、雑然とした印象とならず、すっきりと存在感を主張できるよう、数や大きさ、色づかいなどのデザインを工夫しましょう。
- 周辺の環境や設置する建物との調和を図りましょう。
- 広告物のデザインは、海や松並木との調和に配慮しましょう。特に色彩は、原色や突出色を避け、まちなみや建物と講和した落ちついたものとしましょう。
- 広告物は、同一内容のものを連続して表示しないように努めましょう。
- サインは、必要な情報の伝達のみでなく、わかりやすさ、適切な配置と内容・美しさ・周辺環境との調和をもった統一と秩序あるものに配慮しましょう。

■ 演出

- 時間帯や季節・場所に合わせて、ライトアップを行うなど、地域の特性を感じさせる魅力的な夜景づくりを行いましょう。



右写真：天の川をイメージした「湘南ひらつか竹燈祭」

- 海へのシンボル軸では、周辺の環境を考慮して、目に見える風景とともに存在する、その場にふさわしい音を大切にしましょう。また、空間的な余裕がある場合は、自然を感じさせる水音の演出なども効果的に活用しましょう。



右写真：なぎさブロムナード